

2019年3月8日

新潟工科大学研究室見学会 & 「変種変量のための現場のあり方」特別セミナー開催のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたび、新潟工科大学では、研究者（教員）が「どのような研究をどのような方法（装置）で行っているのか」、「どのような研究設備があるのか」を知っていただくため、研究室見学・紹介イベントを開催いたします。見学会に先立ちまして、これから主流になる変種変量に対応していく現場のあり方について講演を行います。

つきましては、下記のとおり実施いたしますので、当日の取材にご来場を賜れば幸いです。
敬具

【 概要 】

- 日 時 平成31年3月22日（金）13時30分～16時00分
- 会 場 新潟工科大学 原子力耐震・構造研究センター 地下1階 会議・演習室
- 特別講演

「（仮）変種変量の現場とデジタル技術の活用」

日本インダストリアル・エンジニアリング協会（日本IE協会）講師

（株）MEマネジメントサービス代表取締役 小川 正樹 氏 技術士（経営工学）

変種変量に対応していく現場のあり方について、基本的な考え方や円滑に対応した企業の事例紹介、デジタルツールをうまく活用した事例についてご講演いただきます。

■研究室見学

研究室① 村上 肇 教授（知能機械・情報通信学系）

ヒトの動きを計測して、「システムの最適化」に関連する情報を得る研究を紹介いたします。

研究室② 中村 誠 准教授（知能機械・情報通信学系）

マニュアルや特許などに応用可能なコンピュータを用いた法令文の解析に関する研究を紹介いたします。

研究室③ 小林 義和 准教授（機械・素材科学系）

より早く安く精密な工業製品を生み出すために、コンピュータの可能性を探索しています。金属・樹脂素材の3次元プリンターを交えて紹介いたします。

研究室④ 富永 禎秀 風・流体工学研究センター長、教授（建築・都市環境学系）

「ものづくり」から「まちづくり」までの工学の様々な局面における「風」や「流れ」に関する数値シミュレーションと実験装置を使った研究を紹介いたします。

主催：新潟工科大学地域産学交流センター 後援：新潟工科大学産学交流会

参加申込 3月19日（火）まで

○お問い合わせ・申込 新潟工科大学 地域産学交流センター
担当：高橋正子 TEL：0257-22-8110 FAX：0257-22-8123
e-mail：career-sangaku@adm.niit.ac.jp



企業がつくったものづくり大学

新潟工科大学